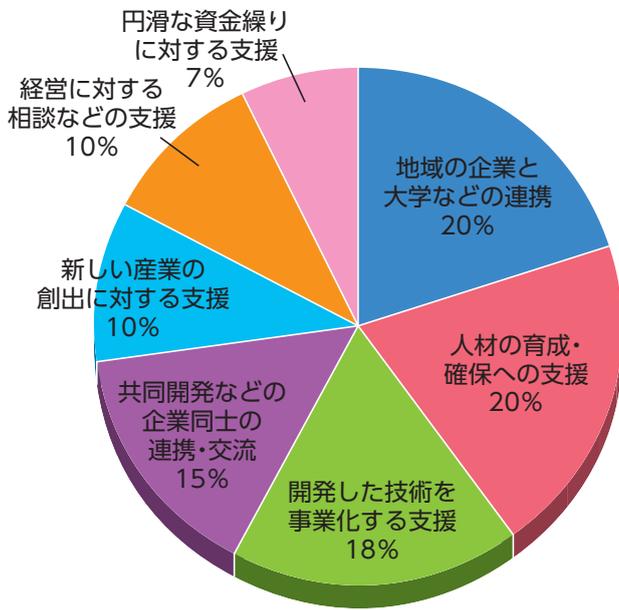




前回の広報うつのみやプラス「産業」に対して30人の市民の皆さんから意見をいただきました。代表的なものを紹介します。

(1) 市の産業がさらに発展するよう、今後推進すべきことは何だと思えますか。



(2) 市内企業の高い技術力が、今後どのように活用されると良いと思えますか。

- 福祉に役立つ事に活用されること(桜2丁目・40代)。
- 幼稚園から高校などの教育現場で活用されること(末広1丁目・80代)。
- 中小企業の小回りのきく組織と蓄積された技能で、まず市民から県民の求める身近な生活技術から製品を生み出すこと。研究が必要なら産学連携で(下平出町・70代)。
- 高い技術力がありながら、知られていない中小企業も多いのではないかと。そういった企業の技術力も広く周知されると良いのではないかと(鶴田町・50代)。
- 市民の生活に直結するような事業に活用されること。例えば、バスや電車などの公共交通など(匿名)。
- 各企業が連携することで、高い技術力を生かし、メイド・イン・ウツノミヤとしての製品化をし、完成品を造り上げることが望まれる(匿名)。
- 小さな部品だけど、私たちの生活や産業を支えている、大企業に負けない技術力がある。これらの企業の公開や相互の交流によって、新しい製品の開発や市場の拡大で、地域が発展することを期待したい(川俣町・50代)。

前回の広報うつのみやプラス「ものづくりを支えるまち うつのみや」の概要



日本有数の航空宇宙産業集積地

私たちの身近には、優れた技術で活躍する企業が多数あります。特に清原工業団地などでは日本の経済成長を牽引する企業の工場や研究所が業種の分布もバランス良く多数立地しています。また、航空宇宙関連企業が富士重工航空宇宙カンパニーを中心に集積しています。そのような特徴を生かし、市では、特に人々の移動性を高める技術を創造する航空宇宙・自動車・ロボット・情報通信分野を「次世代モビリティ産業」と位置付け、重点的に産学官連携ネットワークの構築や、次代を担うものづくり人材の育成に取り組んでいます。

元気なものづくり企業は地域経済の牽引者

各企業が高い専門性を発揮し、有望な人材を数多く育て、技術を継承・発展させることで、地域内全体に産業振興の意識が浸透し、起業や人材の交流、連携が活発になることが市の目指す将来像です。市では、次代を担うものづくり人材の育成を図るため、ロボットの大会である「WRO」Japan うつのみや大会や学生を対象とした「地元企業見学会」を開催しています。

広報うつのみやプラスや政策特集は、皆さんと一緒に考えていただきたいテーマを取り上げ、年4回編集します。



料金受取人払郵便



差出有効期間
平成26年8月
15日まで

【切手不要】

3 2 0 8 7 4 0

(受取人)
宇都宮市旭1丁目1番5号

(宇都宮市役所)
宇都宮市総合政策部広報広聴課

行



3 2 0 8 7 4 0

3

氏名	住所	
年齢	歳	職業

差し支えがなければ記入してください。広報紙で意見を介绍する際には、氏名の記載はしません。なお、はがきの情報については、目的以外には使用しません。